

会報

通常総会議事報告

社団法人 溶接学会 第79回通常総会の議事を下記のとおり報告いたします。

日時 平成23年4月21日(木)10:00～12:00

場所 学術総合センター 一橋記念講堂 東京都千代田区一ツ橋2-1-1

平成22年度事業報告及び会務報告

(平成22年3月1日から平成23年2月28日まで)

平成22年度において本会は次の事業を行った。

I 事業報告

1. 全国大会 (定款第3条1項)

1.1 春季全国大会

平成22年4月20日～22日：東京ビッグサイト(東京)

研究発表講演(105件)、特別講演(1件)、シンポジウム(講演6件)、フォーラム(講演5件)、AWFシンポ・日韓シンポ合同会議(講演10件)

参加者 延約1,000名

1.2 秋季全国大会

平成22年9月7日～9日：日本大学(郡山)

研究発表講演(198件)、特別講演(1件)、論文賞受賞講演(1件)、フォーラム(講演7件)、技術セッション(講演5件)、若手会員のためのイブニングフォーラム(ポスター発表40件)

参加者 延約1,500名

2. 講習会 (定款第3条1項)

2.1 平成22年度溶接入門講座(第39回)

会期 平成22年6月2日、3日

会場 科学技術館(東京)

受講者 37名

2.2 平成22年度溶接工学夏季大学(第58回)「中堅技術者講座」

会期 平成22年7月28日～7月30日

会場 大阪大学大学院工学研究科岡田メモリアルホール

受講者 84名

2.3 平成22年度溶接工学入門1日講座(第1回)

会期 平成23年2月17日

会場 熊本大学工学部2号館211教室

受講者 43名

3. 刊行 (定款第3条3項)

3.1 溶接学会誌79巻2号～80巻1号(8冊)

主な内容 特集、展望、レビュー&トレンド、溶接接合教室、実験指南、他

3.2 溶接学会論文集28巻2号～29巻1号(4冊)(WEB)

主な内容 研究論文41篇

3.3 全国大会講演概要集 第86集および第87集(2冊)

3.4 平成22年度溶接工学夏季大学教材「溶接中堅技術者講座」

3.5 Mate2011 17th Symposium on "Microjoining and Assembly Technology in Electronics" 論文集(マイクロ接合研究委員会)

4. 研究活動 (定款第3条1項)

4.1 研究推進部会(小溝裕一部会長)

2回の会合を開催し、各研究委員会の活動状況の把握及び調整並びに特別研究会、アドホック研究会の活性化を図った。また、学会活動の情報化に伴う研究委員会ホームページの拡充、研究委員会設置形態の見直し、国際化対応、第四期科学技術基本計画への対応などについて検討した。各研究委員会の将来ビジョンの検討の中から、各研究委員会のアカデミックロードマップを策定し、全国大会時にシンポジウムをおこなうこととした。

(1) 春季全国大会においてフォーラム「先進エレクトロニクス実装の動向と今後の展望」を開催した。

(2) 秋季全国大会においてフォーラム「粒子積層による厚膜創成プロセスの最前線」を開催した。

(3) 特別研究会「建築鉄骨における溶融亜鉛めっき割れに関する研究」(中込忠男主査)

当初、年度一杯で活動終了の予定であった。しかしながら研究会委員の協力により、冷間曲げ加工材の残留応力測定にX線回折測定器が使用できることになったので、X線回折測定法についてその採用可能性の検討を主に既往の論文により行なった。その結果、X線回折測定法でめっき割れ発生に寄与すると考えられる鋼材のごく表面の応力測定が可能であること、ひずみゲージによる測定は鋼材断面の平均的な応力を与えることがわかった。

(4) 特別研究会「溶接・接合プロセスのビジュアル化最前線」(田中学主査)

前年に引き続き電子書籍「溶接・接合プロセスのビジュアル化最前線」の普及に努めた。さらに、平成22年10月14日に、大阪大学にて平成22年度第1回セミナー「材料プロセシングに関わる可視化の最前線」を開催した。プラズマ流体可視化の権威、東北大学の西山秀哉先生、および電力機器開閉器の可視化において国際的に著名な金沢大学の田中康規先生をお迎えし、溶接・接合プロセス分野の枠を超えて幅広く「可視化」の最前線を学ぶ機会を設けた。その他若手研究者を中心に5件の「可視化」に関する研究トピックが発表され、多数の参加者を得た。また、平成22年11月4日に、大阪大学にて平成22年度第2回セミナー「アークプラズマと金属蒸気の相互作用」を開催した。アーク物理の世界的権威、オーストラリアCSIROのジョン・ローキー博士をお迎えし、可視化の進歩によってバールを脱ぎつつあるアーク溶接の金属蒸気挙動の物理を学ぶ機会を設けた。

(5) アドホック研究会「FSWの品質保証に関する研究会」(安井利明主査)

平成21年度に決定した2つの研究課題「塑性流動解析による接合不良部形成メカニズムの把握とその検出」と「非破壊検査による接合不良部位の定量的把握と機械的特性の評価」について各担当において研究を推進すると共に、5回の研究会を実施した。平成22年度末をもって研究会は終了し、平成23年度秋季

全国大会において成果報告を行う。

(6) 溶接学会記念基金助成活動

「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会(佐藤 裕 主査)

下記AWF (アジア溶接連盟) 関連活動に参加した。

① 日韓若手シンポジウム (春季全国大会最終日に開催)

平成22年4月22日(木)に東京ビッグサイトで開催された。韓国5件、日本5件の計10件の研究発表を行った。詳細に関しては学会誌79巻6号じょうほう通ページにて報告記事を掲載した。溶接力学、溶接冶金からアーク物理など溶接工学に関する幅広い講演発表があり、活発な討論が行われた。本シンポジウムを通して、日韓の溶接工学に関する最新情報を共有することができたとともに、さらに親密な人的ネットワークを形成することができた。

4.2 溶接構造研究委員会 (有持和茂委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第186回	22.3.16	東京	34	研究報告 5件 (日本船舶海洋工学会材料・溶接研究会と合同委員会)
第187回	22.7.8~9	ドイツ	30	研究報告 4件 (6th German-Japan Seminar)
第188回	22.11.19	広島	19	研究報告 4件
第189回	23.1.31	大阪	21	研究報告 4件

4.3 溶接法研究委員会 (浅井 知委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第210回	22.5.14	東京	42	研究報告 6件
第211回	22.8.4	大阪	57	研究報告 5件
第212回	22.11.18~19	神戸	71, 67	特別講演 3件、特別シンポジウム講演 10件 (50周年特別委員会)
第213回	23.1.27~28	東京	75, 50	研究報告 12件

4.4 溶接冶金研究委員会 (篠崎賢二委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第200回	22.5.19	東京	32	研究報告 6件
第201回	22.8.19~20	横浜	25, 21	研究報告 4件 見学会
シンポジウム	22.10.7~8	大阪	140	溶接冶金研究委員会 創設 50周年記念シンポジウム
第202回	23.1.27~28	東京	75, 50	研究報告 12件

4.5 溶接疲労強度研究委員会 (森 猛委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第225回	22.4.15	東京	22	研究報告 5件
第226回	22.7.21	東京	26	研究報告 5件
第227回	22.10.22	東京	14	研究報告 1件 見学会
第228回	23.1.14	東京	26	研究報告 5件

4.6 高エネルギービーム加工研究委員会 (片山聖二委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第64回	22.6.1	東京	19	研究報告 5件
第65回	22.10.28	神戸	13	研究報告 2件 見学会
第66回	23.2.15	東京	22	研究報告 5件

4.7 軽構造接合加工研究委員会 (里中 忍委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第89回	22.6.10	東京	37	研究報告 5件
第90回	22.9.17	大阪	28	研究報告 5件
講習会	22.11.9	東京	56	「溶接技術講習会」 ～薄鋼板及びアルミニウム合金板の抵抗スポット溶接～
第91回	22.12.17	栃木	34	研究報告 3件 見学会
第92回	23.1.13	東京	27	研究報告 6件

4.8 マイクロ接合研究委員会 (齋藤重正委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第93回	22.4.22	東京	103	春季全国大会フォーラム、第3回溶接連合講演会と合同開催
第94回	22.6.11	東京	69	研究報告 6件
第49回分科会	22.7.2	東京	67	研究報告 6件
第95回	22.10.5	東京	56	研究報告 6件
第50回分科会	22.11.5	東京	59	研究報告 5件
第96回	22.12.10	東京	83	研究報告 6件
シンポジウム	23.2.3~4	横浜	496	Mat2011 シンポジウム

4.9 界面接合研究委員会 (鈴木暁男委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第84回	22.5.21	東京	30	研究報告 6件
第85回	22.10.1	東京	33	研究報告 6件
第86回	23.1.21	東京	28	研究報告 6件

5. 国内活動 (定款3条項4)

5.1 日本溶接会議 (JIW) の活動援助を行った。

5.2 本会、日本溶接協会、産報出版の合同企画にて、平成22年度春季全国大会における第3回溶接連合講演会を開催した。

5.3 共催、協賛、その他 (承認順)

日本学術会議材料工学委員会、日本非破壊検査協会、日本溶接協会、日本高圧力技術協会、腐食防食協会、日本機械学会、軽金属溶接構造協会、日本材料学会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本自動車技術会、日本工学会、その他関係学協会の活動に協力した。

- 後援：(社)日本工作機械工業会「第14回 国際工作機械技術者会議」(H22.10.29-30)
- 後援：(社)日本鉄筋継手協会「法人設立45周年記念パネルディスカッション：鉄筋継手の未来」(H22.5.25)
- 協賛：(社)日本鉄鋼協会「第203・204回西山記念技術講座 - CO₂削減に向けた一貫製鉄プロセス技術の現状と将来展望」(H22.11.5, 11.12)
- 協賛：(社)日本溶接協会「保全技術者に役立つ新しい プラント圧力設備の溶接補修指針 - シンポジウム」(H22.7.5)
- 共催：大阪大学接合科学研究所「Visual-JW2010」(H22.11.11-12)
- 協賛：(社)日本塑性加工学会「第61回塑性加工連合講演会」(H22.10.15-17)
- 協賛：(社)日本高圧力技術協会「第20回圧力設備の材料、設計、施工、維持管理」(H22.6.24-25)
- 協賛：(社)日本材料学会「第12回初心者のための疲労設計講習会」(H22.8.23-24)
- 協賛：(社)日本材料学会「第30回疲労シンポジウム」(H22.10.28-30)
- 協賛：(社)日本材料学会「第2回若手研究者および技術者のための高温強度講習会」(H22.6.30-7.2)
- 協賛：(社)日本ガスタービン学会「381回日本ガスタービン学会定期講演会」(H22.10.20-21)
- 協賛：(社)日本機化学会「第18回機械材料・材料加工技術講演会」(H22.11.27-28)
- 協賛：(社)自動車技術会「車体構造形成における CO₂削減の新展開」(H22.7.21)
- 協賛：第28回プラズマプロセス研究会「第7回反応性プラズマ国際会議」(H22.10.4-8)
- 協賛：(社)日本機械学会「機械の日・機械週間 記念行事」(H22.8.7)
- 協賛：(社)日本材料学会「第12回フラクトグラフィシンポジウム」(H22.12.3)
- 協賛：(社)自動車技術会「第8回全日本学生フォーミュラ大会 - ものづくり・デザインコンペティション -」(H22.9.7-11)
- 協賛：(社)日本材料学会「第30回疲労講座 (はじめての金属疲労)」(H22.8.6)
- 協賛：(社)日本材料学会「2010年度 JCOM 若手シンポジウム」(H22.8.27-28)
- 協賛：(社)日本材料学会「第25回信頼性シンポジウム」(H22.12.9-10)
- 協賛：(社)日本非破壊検査協会「持続的社會インフラストラクチャーをどう実現するか」(H22.7.20)

- (22) 協賛：(社)日本材料学会「第40回 初心者のための有限要素法講習会」(① H22.7.29-30, ② H22.8.19-20)
- (23) 協賛：(社)日本高圧力技術協会「第9回高圧力機器および配管におけるガasket フランジ締結体のシーリングテクノロジー」(H22.8.24-25)
- (24) 後援：(社)日本溶接協会「熱切断作業の品質と安全講習会」(H22.8.27)
- (25) 後援：(社)日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書改訂講習会」(第2回) (大阪 H22.7.26, 東京 H22.7.28)
- (26) 協賛：(社)日本高圧力技術協会「非破壊試験による欠陥寸法測定」(H22.9.16-17)
- (27) 協賛：Techno-Ocean2010 実行委員会(委員長；神戸大学副学長 石田廣史) 「Techno-Ocean2010」(H22.10.14-16)
- (28) 協賛：(社)日本高圧力技術協会「リスクベースメンテナンスの新しい展開」(H22.9.7-8)
- (29) 協賛：(社)エレクトロニクス実装学会「関西ワークショップ2010」(H22.7.9)
- (30) 協賛：(社)日本材料学会「腐食防食部門委員会第275回例会」(H22.7.27)
- (31) 協賛：(社)腐食防食協会「第37回コロージョン・セミナー」(H22.8.25-27)
- (32) 協賛：傾斜機能材料研究会・(独)物質・材料研究機構「第21回傾斜機能材料国内シンポジウム」(H22.7.1-2)
- (33) 後援：(財)神奈川科学技術アカデミー「平成22年度KAST教育講座」(H22.9.11.)
- (34) 協賛：(財)溶接接合工学振興会「第21回セミナー」(H22.10.27)
- (35) 協賛：(社)日本能率協会「ものづくりNext2010」(H22.11.17-19)
- (36) 協賛：(社)日本機械学会「自動車における3次元設計の現状と課題」(H22.9.1)
- (37) 協賛：日本保全学会「第10回保全セミナー」(H22.9.27)
- (38) 協賛：(社)日本高圧力技術協会「第8回事故から学ぶリスクマネジメント」(H22.10.14-15)
- (39) 協賛：(社)強化プラスチック協会「第55回 FRP 総合講演会・展示会」(H22.11.25-26)
- (40) 協賛：レーザー加工学会「第74回レーザー加工学会講演会」(H22.12.6-7)
- (41) 協賛：一般社団法人日本検査機器工業会「第5回総合検査機器展」(H22.11.24-26)
- (42) 協賛：(社)応用物理学会「第4回プラズマエレクトロニクスインキュベーションホール」(H22.9.21-23)
- (43) 協賛：(社)日本鋼構造協会「鋼構造シンポジウム2010」(H22.11.18-19)
- (44) 協賛：(社)自動車技術会「自動車の強度信頼性の明日を担う接合技術と実験技術」(H22.11.26)
- (45) 協賛：(社)日本材料学会「第59期第1回分子動力学部門委員会」(H22.9.22)
- (46) 協賛：(社)日本材料学会「第7回ノートパソコンで出来る原子レベルのシミュレーション入門」(H22.12.13-14)
- (47) 協賛：(社)日本材料学会「第48回高温強度シンポジウム」(H22.12.2-3)
- (48) 協賛：(社)エレクトロニクス実装学会「第20回マイクロエレクトロニクスシンポジウム」(H22.9.9-10)
- (49) 後援：(社)日本溶接協会「原子力構造機器の材料、設計、施工、検査、維持に関する講習会」(H22.11.29-30)
- (50) 協賛：大阪大学接合科学研究所 セミナー接合科学の最前線「溶接工学のイノベーションを目指した若手研究員の挑戦」(H22.12.9)
- (51) 後援：(社)日本溶接協会「ステンレス鋼溶接施工におけるトラブル事例とその原因」講習会 (H22.12.2)
- (52) 協賛：(社)日本非破壊検査協会「第20回アコースティック・エミッションシンポジウム」(H22.11.16-19)
- (53) 協賛：(社)日本鉄鋼協会「低炭素社会実現のための新機軸」(H22.12.13)
- (54) 協賛：大阪大学接合科学研究所「溶接工学のイノベーションを目指した若手研究者の挑戦」(H22.12.9)
- (55) 後援：(社)日本鉄筋継手協会「日本鉄筋継手協会平成22年調査研究発表会(大阪)」(H22.10.12)
- (56) 後援：(財)製造科学技術センター「ものづくり技術戦略ロードマップシンポジウム」(H22.9.29)

- (57) 協賛：(一社)日本溶射協会「第92回(2010年秋季)全国講演大会」(H22.11.29-12.1)
- (58) 協賛：(社)軽金属協会「アルミニウム合金の時効析出—基礎から応用まで—」(H22.12.3)
- (59) 協賛：(社)日本機械学会「第9回最適化シンポジウム2010」(H22.12.9-10)
- (60) 協賛：(社)日本機械学会「第20回設計工学・システム部門講演会」(H22.10.27-29)
- (61) 協賛：レーザー加工学会「LPM 2011国際シンポジウム」(H23.6.7-10)
- (62) 協賛：(社)日本機械学会「事故・不祥事の背景から学ぶリスクマネジメント」(H22.11.15)
- (63) 協賛：(社)日本ガスタービン協会「第39回ガスタービンセミナー」(H23.12.0-21)
- (64) 協賛：(社)日本塑性加工学会「第286回塑性加工シンポジウム」(H22.12.22)
- (65) 協賛：(社)日本溶接協会「LMPシンポジウム2011」(H23.1.31-2.1)
- (66) 協賛：(社)日本船舶海洋工学学会「第22回海洋工学シンポジウム」(H23.3.17-18)
- (67) 協賛：(一社)日本計算工学学会「ものづくりシミュレーションの品質向上を目指して」(H23.1.11)
- (68) 協賛：(社)日本機械学会「関東支部2010年度セミナー」(H23.1.28)
- (69) 協賛：(社)日本材料学会「第47回X線材料強度に関する討論会」(H22.12.3)
- (70) 協賛：(社)日本高圧力技術協会「第11回エネルギー貯槽等技術基準と安全性」(H23.2.3-4)
- (71) 協賛：(社)日本塑性加工学会「平成23年度塑性加工春季講演会」(H23.5.27-29)
- (72) 協賛：(社)腐食防食協会「第169回・第170回腐食・防食シンポジウム」(H23.1.11) (H22.12.6)
- (73) 協賛：日本保全学会「第11回保全セミナー」(H23.1.31)
- (74) 協賛：日本複合材料学会「第2回日本複合材料合同会議」(H23.3.16-18)
- (75) 協賛：(社)日本非破壊検査協会「第42回応力・ひずみ測定と強度評価シンポジウム」(H23.1.20-21)
- (76) 共催：エコデザイン学会連合・産業技術総合研究所「EcoDesign 2011」(H23.11.30-12.2)
- (77) 協賛：(社)日本金属学会「バルクナノメタル構造用金属材料の新たな可能性」(H23.3.17)
- (78) 共催：(社)日本原子力学会「原子力総合シンポジウム2011」(H23.5月) 共催金1口 5,000円
- (79) 後援：(財)神奈川科学技術アカデミー「めっき技術の最先端と新展開」(H23.2.3&10)
- (80) 協賛：(社)日本非破壊検査協会「第18回超音波による非破壊評価シンポジウム」(H23.1.27-28)
- (81) 協賛：(社)日本材料学会「第45回X線材料強度に関するシンポジウム」(H23.7.7-8)
- (82) 協賛：(社)日本材料学会「第16回分子動力学シンポジウム」(H23.5.23-24)
- (83) 協賛：(社)日本非破壊検査協会「安全・安心な社会を築く先進材料・非破壊計測技術シンポジウム」(H23.3.18)
- (84) 後援：(社)日本溶接協会「第46回原子力国内シンポジウム」(H23.2.18)
- (85) 協賛：(社)日本鉄鋼協会「スラグ・ダストの利材化技術と新しい展開」(H23.6.15&24)
- (86) 協賛：(社)日本非破壊検査協会「表面探傷技術による健全性診断」(H23.3.10-11)
- (87) 協賛：(社)日本非破壊検査協会「第9回保守検査シンポジウム」(H23.2.15)
- (88) 協賛：(社)エレクトロニクス実装学会関西支部「第7回技術講演会」(H23.2.18)
- (89) 協賛：(社)エレクトロニクス実装学会「第25回春季講演大会」(H23.3.8-10)
- (90) 協賛：(一社)日本溶射学会「アジア溶射会議2011」(H23.11.7-8)
- (91) 協賛：(社)エレクトロニクス実装学会関西支部「ICEP 2011(実装技術国際シンポジウム)」(H23.4.13-15)
- (92) 協賛：レーザー加工学会((社)高温学会)「第75回レーザー加工学会講演会」(H23.5.11-12)
- (93) 協賛：日本顕微鏡学会「第21回電子顕微鏡大学」(H23.4.21-22)

(94) 協賛：(社)日本ガスタービン学会「第39回日本ガスタービン学会定期講演会」
(H23.7.6-7)

5.4 次の学協会と機関誌を交換し研究連絡、情報交換を行った。

学協会名	誌名	学協会名	誌名
軽金属学会	軽金属	日本建築学会	建築雑誌
軽金属溶接構造協会	軽金属溶接	〃	Journal of Asian Architectur and Building Eng.
高圧ガス保安協会	高圧ガス	日本高圧力技術協会	圧力技術
電気学会	電気学会誌	日本鋼構造協会	JSSC
電気製鋼研究会	電気製鋼	日本接着学会	日本接着学会誌
土木学会	土木学会誌	日本船舶海洋工学会	日本船舶海洋工学会誌 KANRIN (威臨)
〃	土木学会論文集	〃	日本船舶海洋工学会論文集
日本海事協会	日本海事協会誌	日本鉄鋼協会	鉄と鋼
日本機械学会	日本機械学会誌	〃	ふえらむ
日本橋梁建設協会	虹橋	〃	ISIJ International
日本金属学会	まてりあ	日本非破壊検査協会	非破壊検査
日本溶射協会	溶射	日本溶接協会	溶接技術

6. 国際活動 (定款 3 条項 4)

6.1 国際溶接学会 (IIW) 関連

IIW の活動を支援して年間を通じ国際溶接学会 (IIW) の日常活動及び第63回年次大会 (トルコ・イスタンブール, 7月11日~16日) に参加した。参加者は48カ国848名, 日本からは77名 (同伴者を除く)。

6.2 アジア溶接連盟 (AWF) の活動及び総会に参加した。

若手溶接技術者・研究者の活動の一環として, AWF ニューデリー (インド) 会議併催シンポジウム (11月) に参加した。

6.3 次のとおり機関誌を交換し, 研究情報の交流を推進した。

誌名	国名
1 Australian Welding Research	オーストラリア
2 Revista Soldadura	アルゼンチン
3 Schweiss-& Prufung Technik	オーストリア
4 Reveu de la Soudure - Lastijdschrift	ベルギー
5 Leurotest Technical Bulletin	〃
6 Metalurgia	ブラジル
7 Revista da Soldagem	〃
8 Soldagem & Inspeccao	〃
9 Canadian Welder & Fabricator	カナダ
10 Zvaranie	チェコ
11 Welding News	〃
12 Hitsaustekniikka Svetsteknik	フィンランド
13 Soudage et Techniques Connexes	フランス
14 Bulletin Singanaletique	〃
15 Sciaky	〃
16 Schweissen und Schneiden	ドイツ
17 Schweisstechnik	〃
18 Wissenschaftliche Zeitschrift	〃
19 Indian Welding Journal	インド
20 Journal of the Association of Engineers	〃
21 Rivista Italiana della aldatura	イタリー
22 Korean Scientific Abstracts	韓国
23 大韓金属学会誌 (Journal of KMM)	〃
24 大韓溶接学会誌	〃
25 Metals and Materials	〃

26 Korean Welding Society	〃
27 Electronic Materials Letters	〃
28 Lasttechnik	オランダ
29 Przegląd Spawalnictwa	ポーランド
30 Biuletyn Instytutu Spawalnictwa	〃
31 Polish Engineering	〃
32 Technologia Qualidade	ポルトガル
33 Buletin IPI	ルーマニア
34 Serie de Metalurgia	〃
35 Sudura	〃
36 Revista de Metallurgia	スペイン
37 Revista de Soldadura	〃
38 Soldadura y Tecnologias de Union	〃
39 Svetsaren	スウェーデン
40 Schweisstechnik Soudure	スイス
41 Welding & Metal Fabrication	英国
42 Welding Review	〃
43 Metals Technology	〃
44 Welding International	〃
45 Welding Journal	米国
46 Welding Research Abroad	〃
47 WRC Bulletin	〃
48 CA Selects(Ceramic Materials)	〃
49 Avtomaticheskaya Svarka	ウクライナ
50 Strength of materials	〃
51 All - Union Monthly of Engineering Physics	〃
52 Zavaranie svarovani	スロベニア
53 Varilna Tehnika	〃
54 Metallic Materials	〃
55 Science in China	中国
56 地質学報	〃
57 金属学報	〃
58 鋼鉄	〃
59 Transactions of the China Welding Institution	〃
60 冶金分析	〃
61 材料科学	〃
62 China Welding	〃
63 Singapore Welding Society Newsletter	シンガポール

II 会務報告

1. 第78回通常総会

日時 平成22年4月21日(水)

開会 午前10時00分 閉会 午前11時30分

場所 東京ビッグサイト 会議棟6階「607会議室」

議決権を有する者：理事 20名 (うち13名は代議員と兼任)

代議員 146名

出席 27名 (理事14名, 代議員22名) (うち理事と代議員を兼任9名)

委任状 70名 (理事5名, 代議員68名) (うち理事と代議員を兼任3名)

合計 97名 (総数153名)

監事出席 平岡和雄

幹事出席 興石房樹

議事

① 平成21年度事業及び会務報告の件 承認

② 平成21年度収支決算報告の件 承認

- ③ 監査報告 承認
- ④ 平成22・23年度理事・監事選任の件 承認
- ⑤ 平成22年度事業計画の件 承認
- ⑥ 平成22年度収支予算の件 承認
- ⑦ 平成22・23年度代議員報告の件
- ⑧ 名誉員推薦
中川幸也
- ⑨ 特別員推薦
大城桂作, 豊貞雅宏
- ⑩ 表彰
溶接学会業績賞
中田一博, 篠崎賢二
佐々木賞
鴨 和彦
溶接学会論文賞並びに論文奨励賞
溶接学会論文賞
野村和史, 荻野陽輔, 平田好則
溶接学会論文奨励賞
中島清孝, 西川 聡, 温 鵬
田中亀久人賞
佐藤豊幸, 水谷利充, 藤井英俊
溶接学術振興賞
酒井洋輔, 粉川博之, 浅井 知, 土田 豊,
糸村昌祐
妹島賞
飯島 亨, 小林和行, 西村善仁
溶接学会ベストオーサー賞
井須紀文, 上山智之
溶接学会技術貢献賞
泰山正則, 伊木 聡, 猪瀬幸太郎
溶接技術奨励賞
富士明良, 園田哲也, 村井康生, 村上任布,
森本 裕, 廣中 修, 花本和文, 古賀宏志
溶接技術普及賞
倉本 登, 鈴木孝夫, 楠元一臣, 平野 聡,
生宗宏之, 松田 稔, 熊澤日出夫, 福井 薫,
光畑浩一, 浜田宏昭
溶接学会研究発表賞
平成21年度春季全国大会: 越智申久, 矢野良明,
杉山善崇
平成21年度秋季全国大会: 小椋 智, 栗原耕平,
本橋裕之, 早田 新,
伊達亮介, 阿部大輔,
尾崎拓也
溶接学会シンポジウム賞
1) 溶接構造シンポジウム2009
シンポジウム賞(優秀論文賞)
鳥越雅喜, 山下洋一, 山田剛久
恩田尚拡, 柴原正和, 伊藤真介, 正岡孝治
木村真晃, 日下正広, 海津浩一
奨励賞
向出静司
三津谷維基
2) Mate 2010
Mate 2010 優秀論文賞
澤田篤昌

- Mate 2010 研究奨励賞
長坂進介
Mate 2010 技術開発論文賞
梶原良一, 伊藤和利, 石井利昭, 新井克夫
Mate 2010 開発奨励賞
浅野佑策
溶接学会奨学賞
田中智紘, 中村 圭, 水田知宏, 木庭正貴,
三富 均, 角 亮磨, Yang Kun, 一原彰宏,
西内俊平, 齋藤雄一, 前田修平, 庄司博人,
高柳大輔, 米正 裕, 迫 達也
- ⑪ 溶接学会フェロー認定(入会年順)
田村広治, 平田好則, 篠崎賢二, 小溝裕一,
鈴木実平, 川端文丸, 粉川博之, 高橋康夫,
小関敏彦
- ⑫ 溶接学会記念基金その他の寄付金の受入れ状況及び活用状況報告
- ⑬ 感謝状贈呈
四国支部(平成21年度秋季全国大会開催担当)殿

2. 理事会(定例6回)

本年度の主な議題・決議事項

(1) 「一般社団法人」への移行について

平成24年3月1日での「一般社団法人」への移行を目指し、新法人化移行WGと総務担当理事の合同で検討してきた定款変更案を審議・議決し、平成23年4月の第79回通常総会の議に諮るものとした。

(2) 財務強化について

逼迫した財政状態改善のために、財務強化委員会、企画委員会で種々の方策を検討しているが、全国大会の恒常的な赤字を改善すべく、その情報価値・参加価値を勘案した上で、平成23年度春季全国大会から講演登録料および参加費を改定することを議決した。

(3) 会勢の拡大について

会勢拡大の一環として、J-stageでの論文集、全国大会講演概要集の閲覧方法等、これからの会員サービスのあり方について審議した。

(4) 特別研究会等活動の推進について

研究推進部会の提案に基づき、特別研究会、アドホック研究会等の活動延長について審議・承認した。それに伴い、特別研究会2件、アドホック研究会1件および「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会が活動を継続した。

(5) 日中韓ジョイントシンポジウムについて

日中韓ジョイントシンポジウムについて、協定および実施スケジュール等の具体化に対して、鋭意取り組むこととした。

3. 業務委員会活動

3.1 企画委員会(南二三吉委員長)

年度内4回の委員会を開催し、「公益性のある一般社団法人」への移行に向けて、「我が国のものづくり産業に有益な学術情報の発信」、「ものづくり科学のインターフェイスとしての研究交流」が図れるよう、以下の活動基盤強化アクションプログラムを展開した。

- (1) 新法人化移行アクション: 平成24年3月1日での新法人化を目指して、財務諸表の確認、定款変更の検討、事業内容・事業区分の整備などの申請準備作業を行った。
- (2) 財務強化アクション: 会員メリットの創出、新会員獲得

などによる会勢増強、財務管理強化、会費見直し、講習会の見直しなどによる収支改善を検討した。全国大会の恒常的赤字を改善すべく、大会情報価値の大きさも考慮して、平成23年度春季全国大会から講演登録料および参加費を改定することとした。

- (3) 情報システム化アクション：会員認証、委員会認証、会費納入、HPでのアーカイブ化資料閲覧など、各種情報を一元管理できるシステムを構築し、会員への各種サービス提供を効率化・迅速化する。H22年度はそのフレームを画策した。また、NIIの情報支援終了への対応、J-stageの全国大会登録受付システム中止への対応を行うとともに、2006年度以降の学会誌のアーカイブ化、メールマガジンの発行などを検討した。これらに伴い、J-stageでの論文集、全国大会講演概要集の非会員への無料公開は平成23年度から取りやめることとした。
- (4) 研究委員会アクション：平成23年度春季全国大会で研究委員会ロードマップのシンポジウムを企画することとした。また、平成23年度よりスタートする第4期科学技術基本計画への積極的な参画を目指し、日本学術会議での「理学・工学分野の科学・夢ロードマップ」への「安心・安全で、持続可能な社会の実現に向けた溶接・接合技術の展開」の提案を行った。委員会への参加形態の見直しなども検討した。
- (5) 日中韓ジョイントシンポジウム：中国→日本→韓国のホスト国順で日中韓ジョイントシンポジウムを平成23年度から毎年開催することとなり、本会は平成24年度の秋季全国大会（関西支部）で併設して実施することとした。また、他学協会と本会研究委員会との合同研究会、日本溶接協会との連携による海外での溶接技術者教育なども検討した。

3.2 溶接情報化委員会（南二三吉委員長）

年度内2回の情報化WG会議、E-mail持ち回り会議、および、日本溶接協会（JWES）溶接情報センターとの連絡会により、本会活動の情報化に関する以下のような諸検討を実施した。

- (1) 情報一元管理システムの構築：会員への各種サービス提供の効率化・迅速化を図るため、会員認証、委員会委員認証、入退会、会費・委員会費納入、論文査読、HPでのアーカイブ化資料閲覧などを一元管理できる情報システムの構築を目指し、そのフレーム策定を行った。
- (2) 科学技術振興機構（JST）でのアーカイブ化コンテンツの公開方法の見直し：本会論文集と全国大会講演概要は、現在、発刊後、非会員にも無料公開しているが、会員メリットの点から非会員との峻別を図るため、平成23年度からは非会員には非公開とする。
- (3) 溶接学会誌のアーカイブ化：現在、2005年度発行分までJSTでのJournal@rchiveで広く公開している。2006年度発行分からは、各学協会独自にアーカイブ化することとなり、本会は平成23年度よりアーカイブ化に着手する。なお、学会誌はこれまで国立情報学研究所電子図書館（Nii ELS）においても、発行3年経過後は非会員にも無料公開していたが、平成23年度末でNiiによる情報公開支援が終了し、以降はJSTのみでの公開となる。
- (4) J-Stage（JST）の全国大会登録受付システム中止に伴う対応：平成23年度末でJ-Stageが全国大会登録受付システムを中止することとなり、日本印刷（株）に登録受付の代行を依頼することとした。

- (5) メールマガジンの発行：会員メリットの1つとしてメールマガジンの発行を企画検討した。
- (6) HP管理：本会HPのトップページの一部改定、および、新着コンテンツの整備とload-upを行った。

3.3 編集委員会（廣瀬明夫委員長）

溶接学会誌及び溶接学会論文集の編集及び刊行を行った。論文集はWEB論文集として発行した。溶接学会誌は年8号を刊行し、7回の特集と1回のレビュー&トレンドの企画を行った。溶接学会誌各号の記事に対する学会員モニター115名によるアンケートを実施し、学会誌の内容充実に努めた。また、平成22年のアンケート結果の取りまとめを行った。集計結果報告は、Vol.80 No.5に掲載予定である。また、溶接接合教室－基礎を学ぶ－の続編として、－実践編－の企画を行った。年間の学会誌掲載記事より、ベストオナー賞候補者2件を選考した。溶接学会誌は創刊号からを対象として、科学技術情報発信・流通総合システム（J-stage）にて発行日から3年経過後に公開、溶接学会論文集は創刊号からを対象として発行直後から同サービスにて公開した。英文誌STWJ（Science and Technology of Welding and Joining）の共同編集に引き続き参加した。

3.4 論文査読・審査委員会（粉川博之委員長）

平成22年7月28日に年一回全委員が集まる定例委員会を開催し、インターネット利用による電子査読委員会がすっかり定着するとともに、投稿論文査読期間もほぼ定まってきた。本年度は、論文投稿から査読完了（受理日）までの期間が6ヶ月以内の論文が全論文の90%以上、4ヶ月以内の論文約71%、最短のものでは50日で査読を完了し、ほぼ例年通りであった。なお、論文受付数は65件と、少なかった昨年度より11件増加し、電子査読を開始した平成18年の水準に戻った。

また、英文誌STWJ（Science and Technology of Welding and Joining）の共同編集とSTWJ-JWS collaboration推薦投稿を継続している。溶接学会論文のSTWJ誌への推薦は、昨年（平成21年）度は2件と少なかったが、本年度は13件と目標（10件程度）に戻った。

3.5 全国大会運営委員会（高橋邦夫委員長）

- (1) 年度内4回の委員会を開催し、平成22年度春季・秋季全国大会および平成23年度春季・秋季全国大会の企画・運営について協議決定した。
- (2) 講演概要集第86集および第87集を編集発行した。
- (3) 平成22年度秋季および平成23年度春季全国大会プログラムを編成した。
- (4) 全国大会研究発表講演の「溶接学会研究発表賞」審査を平成22年度春季及び秋季大会にて実施した。
- (5) 概要集のCD-ROM化について協議した。

3.6 溶接教育委員会（平田好則委員長）

- (1) 年度内2回の委員会を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討した。
- (2) 平成22年度溶接入門講座を2回開催した。（前掲）
- (3) 平成22年度溶接工学夏季大学を開催した。（前掲）
- (4) IIW第XIV委員会等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換した。
- (5) 日本溶接協会との連携による国際溶接学会（IIW）溶接技術者資格制度特認コースの試験が1回行われた。プロフェッショナル・インタビュー、プロジェクトワーク、最終筆記試験を実施し、IWE5名、IWS2名がディプロマ資格を取得した。
- (6) 溶接学会各支部や研究委員会、日本溶接協会が企画・実

施した講習会やセミナー、シンポジウムのIIW履修ポイントについて、IIW特認コースWGを通してアナウンスした。

- (7) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会-教育機関(大学・高専・工業高校)の連携活動の一環として、大阪大学接合科学研究所のIIW-ATB活動の支援を行った。

3.7 国際交流委員会(村川英一委員長)

- (1) 日本溶接会議(JIW)の活動を通じ、国際溶接学会(IIW)の活動に参画した。
- (2) アジア溶接連盟(AWF)の活動に参加した。
- (3) 日本、中国、韓国の3ヶ国ジョイントシンポジウムの実現に向けて、活動した。

4. 若手会員の会(寺崎秀紀委員長)

4.1 若手会員のためのフォーラム(共催:(財)溶接接合工学振興会)

- (1) 春季全国大会イブニングフォーラム
主 題:第6回日韓若手研究者シンポジウム・AWFシンポジウム合同会議
講 演:Y. W. Park氏(Pukyong National University), 川人洋介(大阪大学), J. K. Hong氏(Korea Institute of Materials Science), 堀江祥平氏(広島大学), H. Ki氏(Ulsan National Institute of Science and Technology), 西畑ひとみ氏(住友金属), D. C. Kim氏(Korea Institute of Industrial Technology), 三上欣希(大阪大学), W. S. Hong氏(Korea Electronic Technology Institute) 田代真一(大阪大学)
日 時:平成22年4月22日(木) 9:30~12:30
場 所:東京ビッグサイト(春季全国大会開催会場)
- (2) 秋季全国大会フォーラム
主 題:若手の研究ポスターセッションと交流会(ポスター発表40件,ポスター発表賞3件)
ポスター賞:越智申久氏(大阪大学), 銭谷佑氏(大阪大学), 沢登寛氏(大阪大学)
日 時:平成22年9月8日(水) 18:00~19:30
場 所:日本大学工学部(秋季全国大会開催会場)
参加者:約80名

4.2 若手会員のための研究会・見学会・シンポジウム・セミナー

- (1) 研究会・見学会(第1回)
場 所:富山県工業技術センター, ワシマイヤー株式会社高岡工場, 株式会社ヨネダアドキャスト(富山県高岡市)
日 時:平成22年5月27日(木) 14:00~17:05, 28日(金) 9:15~13:30
参加者:68名
講 師:佐藤裕(東北大学), 石黒智明氏(富山県工業技術センター), 川人洋介(大阪大学), 柿内茂樹氏(富山県工業技術センター), 舟田義則氏(石川県工業試験場), 富田正吾氏(富山県工業技術センター)
- (2) 研究会・見学会(第2回)
場 所:広島県産業科学技術研究所, 株式会社キーレックス
日 時:平成22年8月5日(木) 14:00~17:05, 6日(金) 9:15~13:30

参加者:31名

講 師:佐藤裕(東北大学), 門井浩太(広島大学), 寺崎秀紀(大阪大学), 西川宏(大阪大学), 川人洋介(大阪大学), 坂村勝氏(広島県立総合技術研究所), 大石郁氏(広島県立総合技術研究所), 門格史氏(広島県立総合技術研究所)

4.3 広報および情報交換

- (1) 溶接学会誌「若手会員の会自由編集ページ」に、運営委員会、イブニングフォーラム、シンポジウムの報告等を掲載した。
- (2) 溶接学会誌の特集記事として第79巻第4号に「外国人研究者が語る諸外国の工学研究事情」を企画・掲載するとともに、「スポットライトー若手の特集記事ー」として「溶接タマゴ」および「私の溶接履歴」を6件、「じょうほう通」を2件掲載した。
- (3) ホームページに活動報告、行事案内等を掲載した。
- (4) メーリングリスト(E-mail)による情報交換を促進した。有効登録者数約200名(平成23年2月28日現在) E-mail投稿数約20通(平成22年3月1日から平成23年2月28日まで)

4.4 若手会員の会運営委員会

計2回の運営委員会を開催し、活動方針と企画について審議した。

- (1) 第42回運営委員会
日 時:平成22年4月21日(水) 12:00~13:00
場 所:東京ビッグサイト(春季全国大会開催会場)
出 席:22名
- (2) 第43回運営委員会
日 時:平成22年9月8日(水) 12:00~13:00
場 所:日本大学工学部(秋季全国大会開催会場)
出 席:18名

5. その他の諸会合

支部長連絡会議	2
名誉員推薦審査委員会	1
特別員選考委員会	1
溶接学会賞審査委員会	1
溶接学会功績賞審査委員会	1
溶接学会貢献賞審査委員会	1
溶接学会業績賞審査委員会	1
佐々木賞審査委員会	1
溶接学会論文賞・溶接学会論文奨励賞審査委員会	1
田中亀久人賞審査委員会	1
溶接学術振興賞審査委員会	1
妹島賞審査委員会	1
溶接学会研究発表賞審査委員会	1
溶接学会シンポジウム賞審査委員会	1
溶接学会ベストオーサー賞	1
溶接学会技術貢献賞審査委員会	1
溶接学会フェロー選考委員会	1

6. 会 勢

会員数(平成23年2月末現在)

賛助員		個人会員							団体会員	
会員数	口数	名誉員	特別員	推薦会員	正員	学生員	合計	員数	口数	
358	916	35	72	10	2,645	225	2,987	38	38	